

令和4年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和4年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	235	67	47	44	5.7	15.8	5.6
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	229	54.8	46.3	52.8	52.1	52.8	10.6	5.7	8.8	5.8	6.5
	大阪市	—	53.4	54.7	54.9	56.8	53.7	11.9	4.3	9.4	5.2	6.8
	9月6日 大阪府	—	53.8	55.4	56.0	56.7	54.2	12.1	4.6	9.6	6.0	7.1
2 年	学校	219	59.8	39.9	47.7	54.4	52.1	9.5	8.8	18.1	10.5	8.6
	大阪市	—	58.7	41.3	48.1	53.0	55.2	8.6	8.2	15.8	8.8	6.4
	1月11日 大阪府	—	59.6	43.3	49.0	52.9	56.1	8.5	7.7	16.1	9.3	6.5
1 年	学校	191	57.7	51.6	53.9	48.0	57.3	12.5	5.1	7.9	7.6	5.7
	大阪市	—	57.8	51.8	54.2	55.0	58.3	12.1	4.9	7.6	5.3	5.1
	1月11日 大阪府	—	58.6		55.0		59.1	12.5		8.0		5.3

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	228	104.2	107.0	158.3	93.7
10月21日	大阪市	—	102.8	105.4	152.4	96.6

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	230	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	26.87	25.88	40.77	49.85	76.55		7.93	198.60	20.98	39.79
	大阪市	28.88	26.10	42.66	51.66	77.74		8.08	196.13	19.98	40.80
	全 国	28.99	25.74	43.87	51.05	78.07		8.06	196.89	20.28	41.04
2 年 女 子	学校	23.65	21.58	46.06	44.78	50.98		8.78	166.17	12.96	48.08
	大阪市	23.08	21.91	45.40	46.34	51.72		9.07	166.28	12.26	47.00
	全 国	23.21	21.67	46.07	45.81	51.60		8.96	167.04	12.45	47.42

令和4年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞全国平均と比較して平均正答率は2.0ポイント下回っていた。平均無回答率は1.4ポイント多かった。また、記述式の問題形式においての平均正答率が、全国と比較して9.0ポイント下回っていたが、短答式の問題形式では0.4ポイント上回っていた。昨年度と比較して、平均正答率の全国との差は大きく改善された。

＜数学＞平均正答率においては、全国平均と比較して4.4ポイント下回っていた。平均無回答率は、5.0ポイント多かった。「データの活用」領域において、平均正答率が、全国と比較して7.8ポイント下回っていた。昨年度と比較して、平均正答率の全国との差は改善され、減少している。

＜理科＞平均正答率においては、全国と比較して5.3ポイント下回った。平均無回答率は、2.2ポイント多かった。「生命」を柱とする領域において、平均正答率が、全国と比較して8.4ポイント下回っていた。前回(平成30年度)の調査と比較して、全国との差は改善され、減少している。

＜生徒質問紙＞「自分には、よいところがあると思いますか」の項目において、肯定的な回答をする生徒の割合は、全国と比較して6.3ポイント上回っていた。また、「将来の夢や目標を持っていますか」の項目において、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国と比較して3.7ポイント上回っていた。しかし、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の項目においては、肯定的な回答をした生徒の割合は、全国と比較して7.9ポイント下回り、「読書は好きですか」の項目においては、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比較して14.2ポイント下回っていた。

○大阪府中学生チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞平均正答率は、大阪府平均と比較して1.0ポイント、大阪市平均と比較して1.4ポイント上回っていた。平均無回答率は、大阪府平均と比較して1.5ポイント下回っていた。

＜社会＞平均正答率においては、大阪府平均と比較して9.1ポイント下回っていた。領域等の平均点では、地理的分野が大阪府を比較して5.5ポイント下回り、問題形式別平均点では、選択式が6.9ポイント下回った。

＜数学＞平均正答率においては、大阪府平均と比較して3.2ポイント下回っていた。平均無回答率は、0.8ポイント多かった。

＜理科＞平均正答率においては、大阪府平均と比較して4.6ポイント下回っていた。「エネルギー」と「粒子」に関する領域でそれぞれ、2.3ポイント、2.0ポイント大阪府平均を下回っていた。

＜英語＞平均正答率においては、大阪府平均と比較して1.4ポイント下回っていた。「聞くこと」「読むこと」の各領域で大阪府平均と比較して若干下回っていた。

＜生徒質問紙＞「授業中、間違っても笑われない」の項目において、肯定的な回答をする生徒の割合は、大阪府平均と比較して1.5ポイント上回っていた。しかし、「自ら課題を見つけて、家で勉強している。」の項目では、13.5ポイント、「テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る」の項目においては4.5ポイント肯定的な回答が大阪府平均を下回っていた。

○大阪市英語力調査(GTEC)

＜読むこと＞大阪市の平均スコアと比較し1.4ポイント上回った。また昨年度と比較し対市比は約0.08ポイント向上した。

＜聞くこと＞大阪市の平均スコアと比較し1.6ポイント上回った。また昨年度と比較し対市比は約0.08ポイント向上した。

＜書くこと＞大阪市の平均スコアと比較し4.9ポイント上回った。また昨年度と比較し対市比は約0.13ポイント向上した。

＜話すこと＞大阪市の平均スコアと比較し2.9ポイント下回ったが、昨年度の対市比との比較は約0.12ポイント向上した。

＜CEFR R1レベル相当以上＞大阪市の平均と比較し0.9ポイント下回ったが、昨年度の対市比との比較は約0.18ポイント向上した。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

＜男子＞50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げにおいては、全国平均、大阪市平均を上回った。上体起こしは全国平均を上回ったが、大阪市平均よりは下回った。また、握力、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランは全国平均、大阪市平均を下回り、体力合計点も全国平均、大阪市平均を下回った。

＜女子＞上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびでは、全国平均、大阪市平均を下回った。長座体前屈は大阪市平均を上回り全国平均とほぼ同じ値となった。握力、50m走、ハンドボール投げでは全国平均、大阪市平均を上回り、体力合計点は全国平均、大阪市平均を上回った。

＜生徒質問紙＞「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の質問項目において、肯定的な回答をした生徒の割合は男子では大阪市平均より1.5ポイント高かったが、全国平均より1.6ポイント低かった。女子では大阪市平均より11.7ポイント高く、全国平均より6.8ポイント高かった。また、一週間の総運動時間(体育の授業を除く)が60分未満の生徒の割合が、男子では17.1%と全国平均(7.8%)や大阪市平均(13.1%)より高く、女子は25.7%と全国平均(17.9%)よりも高く、大阪市平均(25.8%)と同程度であった。

○大阪府中学生チャレンジテスト(2年生)

＜国語＞平均正答率は大阪府平均よりも0.2ポイント上回った。平均無回答率は大阪府平均よりも1.0ポイント多くなった。

＜社会＞平均正答率は大阪府平均より3.4ポイント下回り、平均無回答率は1.1ポイント多くなった。

＜数学＞平均正答率は大阪府平均よりも1.3ポイント下回り、平均無回答率は2.0ポイント多くなった。

＜理科＞平均正答率は大阪府平均より1.5ポイント上回り、平均無回答率は1.2ポイント多くなった。

＜英語＞平均正答率は大阪府平均より4.0ポイント下回り、平均無回答率は2.1ポイント多くなった。

令和4年度 歌島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○大阪府中学生チャレンジテスト(2年生)

＜生徒質問紙＞質問番号5「授業中、間違っても笑われない」の項目において肯定的に回答した割合が、大阪府平均よりも2.0ポイント上回ったが、質問番号8「普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか」の項目において、3時間以上と回答した生徒の割合は、大阪府平均と比べて9.8ポイント多かった。

○大阪府中学生チャレンジテスト(1年生)・大阪市版中学生チャレンジテストplus

＜国語＞平均正答率は大阪府平均よりも0.9ポイント下回ったが、平均無回答率は大阪府平均と同程度であった。

＜数学＞平均正答率は大阪府平均よりも1.1ポイント下回った。平均無回答率は0.1ポイントの差であった。

＜英語＞平均正答率は大阪府平均よりも1.8ポイント下回り、平均無回答率は0.4ポイント多くなった。

＜生徒質問紙＞質問番号5「授業中、間違っても笑われない。」の項目において、肯定的に回答した生徒の割合は、大阪府平均よりも2.7ポイント上回った。また、質問番号7「テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。」の項目において、肯定的に回答した生徒の割合は、大阪府平均と比較して5.6ポイント上回っていた。

＜社会＞大阪市平均と比べ平均正答率、平均無回答率ともにほぼ同程度であった。領域別では歴史の領域の平均正答率は大阪市平均を上回った。

＜理科＞大阪市平均と比べ平均正答率は7ポイント下回った。平均無回答率については1.8ポイントの差があった。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査より

3教科ともに平均正答率は全国と比較して改善傾向にある。今後も授業規律を確保し、学力の土台となる知識・技能を定着させるとともに、さまざまな言語活動を通じて読解力向上に努め、生徒の学力向上につなげていく。

○大阪府チャレンジテスト(3年生)より

平均正答率は、大阪府との差が減少し改善傾向にある。今後も授業規律を確保し、学力の土台となる知識・技能を定着させるとともに、さまざまな言語活動を通じて読解力向上に努め、生徒の学力向上につなげていく。

○大阪市英語力調査(GTEC)より

昨年度と比較した場合、4技能すべてに向上が見られ、CEFR A1レベル相当以上の割合が対市比において0.18ポイントの大幅な向上が見られた。だが、話すこと【スピーキング】の技能においては大阪市の平均を上回ることができなかった。今後はC-NETとの会話や英語でスピーチやプレゼンテーションをするなどの授業内容を増やし恥ずかしがらずに英語で話せる機会を増やし、話すことの技能向上に努めていきたい。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

昨年度と比較して、男子ではハンドボール投げ以外の種目での体力の低下がみられた。体育の授業以外で運動やスポーツなどに取り組む運動時間が少ないことも要因だと考えられる。体育の授業では、準備運動や補強運動を年間を通じて取り組むことにより全面的な体力の向上を図っていく。女子では、運動が好きと回答した生徒の割合が全国平均と比較して高い割合であるが、体育の授業以外の一週間の運動時間が60分未満の生徒が全国平均よりも多い。体育の授業でより運動量を確保するとともに、補強運動などを年間を通じて実施し、より効果的な体力の向上に努めていかなければならない。

○大阪府中学生チャレンジテスト(2年生)

各教科ともに記述式の出題形式の正答率が大阪府平均と比較して差がある。繰り返し学習することにより基礎的・基本的な知識を習得させるとともに、自分の考えをまとめ、発表し、話し合う活動を通じて考えを深めたり広げたりしていけるよう授業方法をさらに改善していく。

○大阪府中学生チャレンジテスト(1年生)・大阪市版中学生チャレンジテストplus

基礎的・基本的な知識を習得できるよう継続した反復学習を行い、得た知識を用いて自分の考えをまとめたり、発表したり、話し合う活動を通じて考えを深めたり高めたりできる活動を取り入れる授業を展開していく。